

■玉ねぎの植え付け、ちょっと待った！

～適度な大きさの苗を、品種に合った適切な時期に植え付けましょう！～

10月中旬になると玉ねぎの苗がホームセンター等に出回ります。早く良い苗を確保して植えつけたい！・・・そう思う方もいるかと思いますが、ちょっと待ってください！品種によっては植付け時期が早すぎます。

峡南地域平坦地の定植適期の目安は概ね以下のとおりです。

極早生品種（スーパーハイゴールド、ジェットボール、高錦 等）：10月下旬～11月上旬

早生品種（ソニック、浜育、貝塚早生、錦毬 等）：11月上旬～11月中旬

中生品種（アトシ、ターボ、OK黄等）：11月中旬～11月下旬

中晩生品種（泉州中高黄、材アース等）：11月下旬～12月上旬

玉ねぎは冬を越すまでに大きく育ちすぎていると、春先に抽だい（とう立ち）や分球してしまい、品質や貯蔵性が低下してしまうからです。

また、「鉛筆よりやや細い苗」を定植します。これは、あまり太い苗を植え付けると寒さがくるまでに大きく育ちすぎてしまい（早く植えた時と同じ状況）、抽だいや分球が起こるためです。

苗の直径が約6mm、長さは25cm程度、葉枚数3～4枚の苗が植え付けにちょうど良い苗です。

良い玉ねぎを育てるには、適度な太さの苗を適期に植えつけることが大切です。

